

# 米国バンクローン・オープン 〈為替ヘッジあり〉 (毎月決算型)

追加型投信／海外／その他資産 (バンクローン)



作成対象期間：2023年5月23日～2023年11月20日

第 109 期 決算日：2023年6月20日 第 112 期 決算日：2023年9月20日

第 110 期 決算日：2023年7月20日 第 113 期 決算日：2023年10月20日

第 111 期 決算日：2023年8月21日 第 114 期 決算日：2023年11月20日

## 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。  
当ファンドは、主として円建ての外国投資信託への投資を通じて、主に米ドル建ての米国企業向けバンクローン等に実質的な投資を行うほか、米国企業が発行する米ドル建てのハイイールド債券等にも投資を行い、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざす運用を行います。実質的な組入外貨建資産については、原則として投資する外国投資信託において為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減を図ります。ここに運用状況をご報告申し上げます。  
当ファンドが受益者のみなさまの資産形成に資するよう、運用に努めてまいりますので、よろしくご願ひ申し上げます。

### 第114期末 (2023年11月20日)

基準価額 6,090 円

純資産総額 3,100 百万円

### 第109期～第114期

騰落率 +1.3 %

分配金合計(\*) 90 円

(注) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率で表示しています。

(\*) 当期間の合計分配金額です。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、以下の方法でご覧いただけます。運用報告書(全体版)は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

閲覧・ダウンロード方法



<https://www.am.mufg.jp/>

[ファンド検索] に  
ファンド名を入力

各ファンドの詳細ページで  
閲覧およびダウンロード

**MUFG** 三菱UFJアセットマネジメント

東京都港区東新橋一丁目9番1号  
ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

### ■当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客さま専用  
フリーダイヤル **0120-151034**

(受付時間：営業日の9:00～17:00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く)

お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

## ファンドマネージャーのコメント

おかげさまで、当ファンドは2023年11月20日に決算を行いました。ここに当期間の運用状況をご報告申し上げます。

### ■運用のポイント

それでは、当期間の運用で主眼に置いたポイントをご説明させていただきます。

#### ・より慎重な銘柄選択

バンクローンのバリュエーションは依然として魅力的と判断しておりました。市場では、ファンダメンタルズの低下とデフォルト率の上昇が予想され、スプレッドは、デフォルト率が長期平均を上回る可能性を織り込んでおりました。2022年はリテールからの資金流出が逆風となりましたが、ローン担保証券（CLO）からの緩やかな需要やバンクローンの新規発行額が低水準にあることから、バンクローン市場の需給環境はある程度支えられると判断しました。新型コロナウイルスのパンデミックによる落ち込みからの回復途上である消費者セクターに対して積極姿勢とする一方、化学、通信など一部セクターに対しては引き続き消極姿勢としました。

#### ・環境を見極め、リスク度合いを調整

信用格付けは比較的良好、またファンダメンタルズが堅調なことから、デフォルト率は市場予想より低位で推移する可能性もあるとみておりました。スプレッド・リスクのオーバーウエイトと高格付け銘柄のオーバーウエイトを継続しました。

セクターについては、クレジットオリティは全体的には堅調に推移しているものの、ファンダメンタルズの悪化が大きいセクターと改善傾向にあるセクターがあり、ばらつきが生じています。新型コロナウイルスのパンデミックによる落ち込みからの回復途上である消費者セクターに対して積極姿勢とする一方、化学、通信など、一部セクターに対しては引き続き消極姿勢としました。

上記は、ウエスタン・アセット・マネジメント・カンパニー・エルエルシーの資料を基に、三菱UFJアセットマネジメントが作成したものです。

### ■投資環境見通しと今後の運用方針

世界的に経済成長が減速し、インフレ率も世界的に総じて低下している中、主要中央銀行は金融引き締め政策を継続しています。世界経済の成長率やインフレ率は鈍化していくとみており、先進国の国債利回りは低下基調となると予想しています。ただ、予想を上回る米国の経済成長、増大する財政赤字を賄うための米国債の供給増加、各国中銀の目標を上回る水準が続くインフレ率などの要因を背景に、「高金利の長期化」への懸念が浮上しており、市場ボラティリティの上昇につながる可能性があります。

バンクローン市場では、レバレッジが高い企業の満期が近いローン等においてはデフォルト率が過去平均を上回る可能性がある一方、バンクローンのバリュエーションは依然魅力的な水準にあると見ています。また、ローン担保証券（CLO）からの緩やかな需要やバンクローンの新規発行額が低水準にあることから、バンクローン市場の需給環境はある程度支えられると思われれます。

今後の投資戦略については、新型コロナウイルスのパンデミックによる落ち込みからの回復途上である消費者関連セクターを積極姿勢とする一方、化学、通信等のセクターに対しては消極姿勢とする方針です。



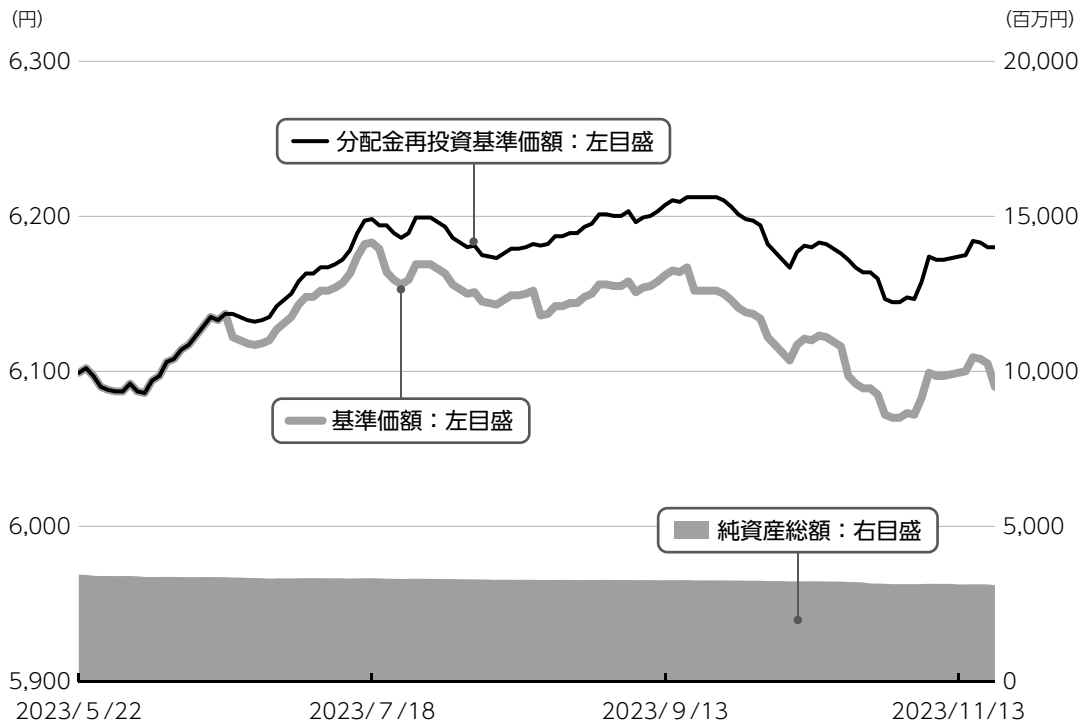
ウエスタン・アセット・マネジメント・カンパニー・エルエルシー  
ポートフォリオ・マネージャー  
ライアン・コーハン

# 運用経過

第109期～第114期：2023年5月23日～2023年11月20日

## ▶ 当作成期中の基準価額等の推移について

### 基準価額等の推移



第109期首	6,099円
第114期末	6,090円
既払分配金	90円
騰落率	1.3%

(分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

### 基準価額の動き

基準価額は期間の初めに比べ1.3% (分配金再投資ベース) の上昇となりました。

### > 基準価額の変動要因

#### 上昇要因

米国バンクローン市況が上昇したこと等が基準価額の上昇要因となりました。

#### 下落要因

信託報酬等の運用上の費用を計上したことや、為替ヘッジによるコスト等が基準価額の下落要因となりました。

2023年5月23日～2023年11月20日

## 1万口当たりの費用明細

項目	第109期～第114期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	38	0.615	(a) 信託報酬 = 作成期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (作成期中の日数 ÷ 年間日数)
( 投 信 会 社 )	(13)	(0.216)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
( 販 売 会 社 )	(23)	(0.383)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
( 受 託 会 社 )	(1)	(0.016)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	0	0.002	(b) その他費用 = 作成期中のその他費用 ÷ 作成期中の平均受益権口数
( 監 査 費 用 )	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合 計	38	0.617	

作成期中の平均基準価額は、6,130円です。

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

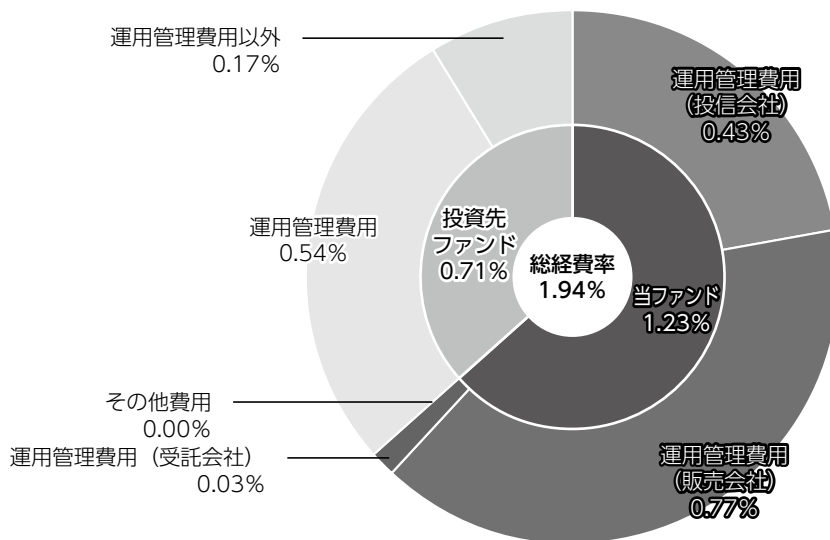
(注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入れ上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## (参考情報)

### ■ 総経費率

当作成対象期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成中の平均受益権口数に作成中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.94%**です。



総経費率 (①+②+③)	(%)	1.94
①当ファンドの費用の比率	(%)	1.23
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	(%)	0.54
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	(%)	0.17

(注) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

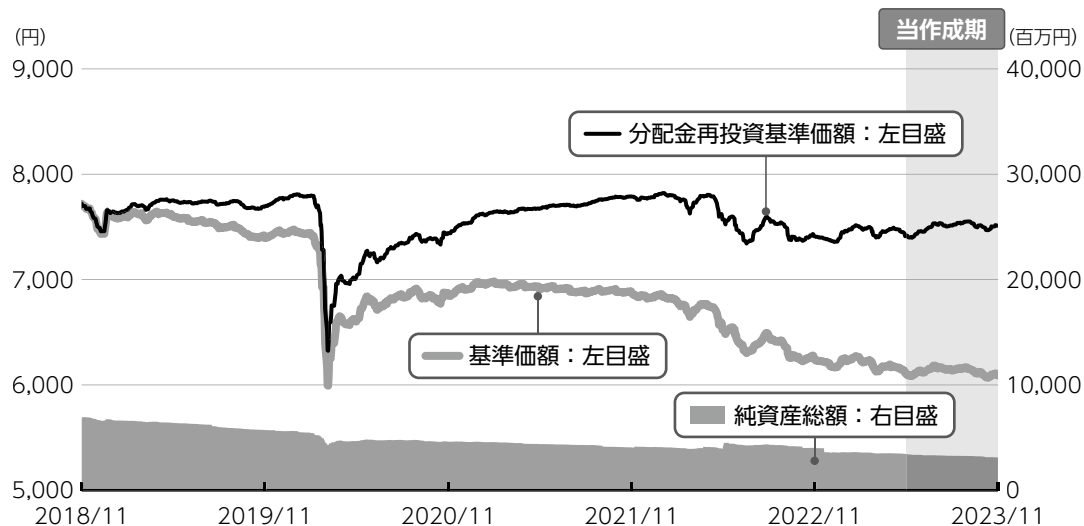
(注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 入手し得る情報において含まれていない費用はありません。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

2018年11月20日～2023年11月20日

## 最近5年間の基準価額等の推移について



※分配金再投資基準価額は、2018年11月20日の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

## 最近5年間の年間騰落率

	2018/11/20 期初	2019/11/20 決算日	2020/11/20 決算日	2021/11/22 決算日	2022/11/21 決算日	2023/11/20 決算日
基準価額 (円)	7,719	7,394	6,846	6,860	6,235	6,090
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	300	300	300	300	230
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	-0.3	-3.3	4.6	-4.8	1.4
純資産総額 (百万円)	6,930	5,711	4,608	4,054	3,999	3,100

※ファンド年間騰落率は、収益分配金 (税込み) を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

第109期～第114期：2023年5月23日～2023年11月20日

## 投資環境について

### ▶ バンクローン市況

**米国バンクローン市況は上昇しました。**

米国バンクローン市況は、米国の利上げ停止期待を背景に企業業績の圧迫懸念が後退した局面でスプレッド（国債に対する上乗せ金利）が縮小したこと等から、上昇しました。

### ▶ 国内短期金融市場

**無担保コール翌日物金利は0%を下回る水準で推移しました。**

当期間の短期金融市場をみると、日銀は長短金利を操作目標として金融市場調整を行いました。コール・レート（無担保・翌日物）はマイナス圏で推移し、足下のコール・レートは-0.013%となりました。

## 当該投資信託のポートフォリオについて

### ▶ 米国バンクローン・オープン<為替ヘッジあり> (毎月決算型)

円建ての外国投資信託であるウエスタン・アセット・米国バンクローン（オフショア）ファンドーJPYヘッジド・クラスを高位に組み入れた運用を行いました。また、マネー・マーケット・マザーファンド投資信託証券を一部組み入れた運用を行いました。

### ▶ ウエスタン・アセット・米国バンクローン（オフショア）ファンドーJPYヘッジド・クラス

主に米ドル建ての米国企業向けバンクローンを高位に組み入れ、米国企業が発行する米ドル建てのハイイールド債券等を一部組み入れました。組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行

い為替変動リスクの低減を図りました。投資戦略については、格付配分では、BB格とB格相当への投資比率を高位で維持しました。また、セクター配分では、通信セクター等への投資比率を低位で維持しました。一方、一般消費財セクター等への投資比率を高位で維持しました。

### ▶ マネー・マーケット・マザーファンド コール・ローン等短期金融商品を活用し、 利子等収益の確保を図りました。



## 当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

## 分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

## 分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第109期 2023年5月23日~ 2023年6月20日	第110期 2023年6月21日~ 2023年7月20日	第111期 2023年7月21日~ 2023年8月21日	第112期 2023年8月22日~ 2023年9月20日	第113期 2023年9月21日~ 2023年10月20日	第114期 2023年10月21日~ 2023年11月20日
当期分配金 (対基準価額比率)	<b>15</b> (0.244%)	<b>15</b> (0.243%)	<b>15</b> (0.244%)	<b>15</b> (0.243%)	<b>15</b> (0.245%)	<b>15</b> (0.246%)
当期の収益	15	15	15	15	15	15
当期の収益以外	-	-	-	-	-	-
翌期繰越分配対象額	427	437	445	453	459	466

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針 (作成対象期間末での見解です。)

### ▶ 米国バンクローン・オープン<為替ヘッジあり> (毎月決算型)

円建て外国投資信託への投資を通じて、主に米ドル建ての米国企業向けバンクローン等を実質的な投資を行うほか、米国企業が発行する米ドル建てのハイイールド債券等にも投資を行います。また、一部マネー・マーケット・マザーファンド投資信託証券の組み入れを維持します。

### ▶ ウェスタン・アセット・米国バンクローン (オフショア) ファンドー J P Y ヘッジド・クラス

今後の投資戦略については、企業が保有資産に対する十分な担保を保持しているかどうか、また強固で継続的なキャッシュフローを生み出せるかどうか、といった観点等に着目し、慎重な銘柄選択に努めます。

保有外貨建資産に対し、原則として、米ドル売り、円買いの為替ヘッジを行います。

### ▶ マネー・マーケット・マザーファンド

今後も日銀による金融緩和政策が継続すると想定されることから、短期金利は引き続き低位で推移すると予想しています。以上の見通しにより、コール・ローン等への投資を通じて、安定した収益の確保をめざした運用を行う方針です。

# お知らせ

## ▶ 約款変更

- ・委託会社の商号変更に対応するため、信託約款に所要の変更を行いました。  
2023年10月1日より商号を三菱UFJアセットマネジメント株式会社に変更しました。  
(2023年10月1日)

## ▶ その他

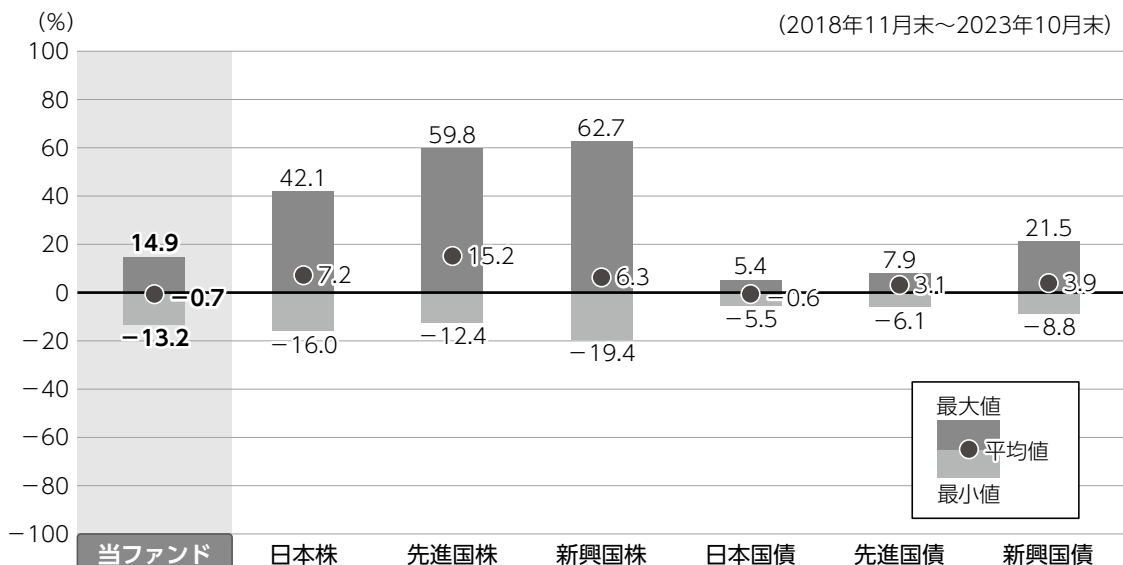
- ・該当事項はありません。

\*本書が、受益者のみなさまのお手元に届くのは作成対象期間末から2ヵ月以上が経過していることにご留意ください。  
なお、最近の運用状況や約款変更の内容等は当社ホームページ (<https://www.am.mufg.jp/>) にて開示を行っている場合があります。

# 当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／海外／その他資産（バンクローン）
信託期間	2029年5月18日まで（2014年5月27日設定）
運用方針	<p>主として円建ての外国投資信託であるウエスタン・アセット・米国バンクローン（オフショア）ファンドー J P Y ヘッジド・クラスの投資信託証券への投資を通じて、米ドル建ての米国企業向けバンクローン（貸付債権）等を中心に実質的な投資を行い、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざします。</p> <p>当該外国投資信託においては、米国企業が発行する米ドル建てのハイイールド債券等にも投資を行います。</p> <p>なお、証券投資信託であるマネー・マーケット・マザーファンドの投資信託証券への投資も行います。</p> <p>円建ての外国投資信託への投資は高位を維持することを基本とします。</p> <p>実質的な組入外貨建資産については、原則として投資する外国投資信託において為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減をはかります。</p> <p>投資対象とする円建外国投資信託の運用は、ウエスタン・アセット・マネジメント・カンパニー・エルエルシーが行います。</p> <p>円建外国投資信託等への投資にあたり、ウエスタン・アセット・マネジメント株式会社の投資助言を受けます。</p>
主要投資対象	<p>■当ファンド ウエスタン・アセット・米国バンクローン（オフショア）ファンドー J P Y ヘッジド・クラスおよびマネー・マーケット・マザーファンドの投資信託証券を主要投資対象とします。</p> <p>■ウエスタン・アセット・米国バンクローン（オフショア）ファンドー J P Y ヘッジド・クラス 米ドル建ての米国企業向けバンクローン等を主要投資対象とします。</p> <p>■マネー・マーケット・マザーファンド わが国の公社債等を主要投資対象とします。外貨建資産への投資は行いません。</p>
運用方法	米ドル建ての米国企業向けバンクローン（貸付債権）等を実質的な主要投資対象とし、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざします。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。原則として、配当等収益や分配対象額の水準等を考慮し、安定した分配を継続することをめざします。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。また、基準価額水準、運用状況等によっては安定した分配とならないことがあります。なお、第3計算期末までの間は、収益の分配は行いません。

## ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



●上記は、2018年11月から2023年10月の5年間における1年騰落率の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて定量的に比較できるように作成したものです。

### 各資産クラスの指数

日本株	東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)
先進国株	MSCI コクサイ・インデックス (配当込み)
新興国株	MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み)
日本国債	NOMURA-BPI (国債)
先進国債	FTSE世界国債インデックス (除く日本)
新興国債	JPMorgan Global Diversified

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

●全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

●ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

●騰落率は直近前月末から60ヵ月遡った算出結果であり、ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

# 当該投資信託のデータ

2023年11月20日現在

## ▶ 当該投資信託の組入資産の内容

### 組入ファンド

(組入銘柄数：2銘柄)

ファンド名	第114期末 2023年11月20日
ウエスタン・アセット・米国バンクローン (オフショア) ファンド-JPY ヘッジド・クラス	99.0%
マネー・マーケット・マザーファンド	0.0%

※比率は当ファンドの純資産総額に対する各投資信託証券の評価額の割合です。

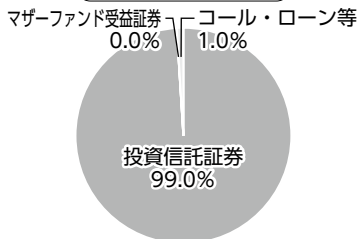
### 純資産等

項目	第109期末 2023年6月20日	第110期末 2023年7月20日	第111期末 2023年8月21日	第112期末 2023年9月20日	第113期末 2023年10月20日	第114期末 2023年11月20日
純資産総額 (円)	3,347,773,751	3,310,930,269	3,266,217,416	3,254,143,589	3,202,038,386	3,100,141,569
受益権口数 (口)	5,468,789,568	5,371,312,925	5,322,953,388	5,289,969,101	5,252,152,557	5,090,593,260
1万口当たり基準価額 (円)	6,122	6,164	6,136	6,152	6,097	6,090

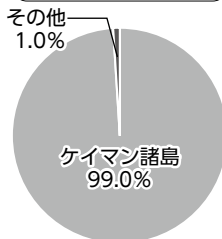
※当作成期間中 (第109期～第114期) において追加設定元本は18,903,214円  
同解約元本は 571,590,903円です。

### 種別構成等

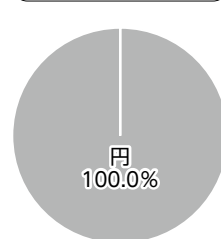
#### 資産別配分



#### 国・地域別配分



#### 通貨別配分



※比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。

※国・地域別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等 (国内外) を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合せて運用しているものを含みます。

※【国・地域別配分】、【通貨別配分】は、組入ファンドの発行地、発行通貨を表示しています。

2023年3月31日現在

組入上位ファンドの概要

ウエスタン・アセット・米国バンクローン (オフショア) ファンドー JPY ヘッジド・クラス

基準価額の推移

2022年3月31日～2023年3月31日  
(円)



基準価額の推移以外の開示情報につきましては、各クラス分けされたものがないため、「ウエスタン・アセット・米国バンクローン (オフショア) ファンド」ベースで表示しています。

1万口当たりの費用明細

2022年4月1日～2023年3月31日  
1万口当たりの費用明細に相当する情報がないため、開示できません。

ウエスタン・アセット・米国バンクローン (オフショア) ファンド

組入上位10銘柄

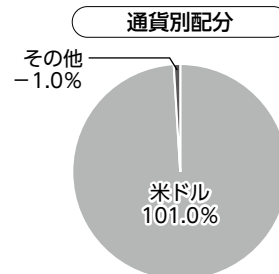
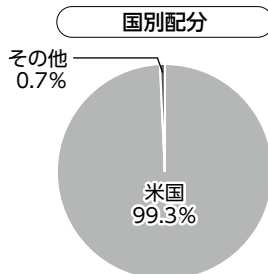
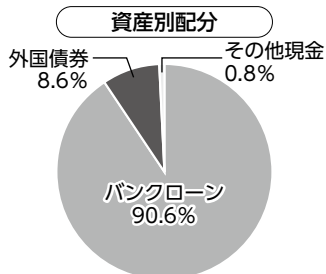
(組入銘柄数：203銘柄)

	銘柄	種類	国	比率(%)
1	PLASTICS MANAGEMENT, LLC	バンクローン	米国	1.3
2	SOTERA HEALTH HLD TL 1L	バンクローン	米国	1.2
3	VERTIV GROUP CORP TL B 1L	バンクローン	米国	1.2
4	SEDGWICK CMS INC TL B 1L	バンクローン	米国	1.2
5	II-VI INC TL B 1L	バンクローン	米国	1.1
6	JANE STREET GROUP TL B 1L	バンクローン	米国	1.1
7	JAZZ FINANCING LU TL B 1L	バンクローン	米国	1.1
8	CAESARS ENTERTAIN TL B 1L	バンクローン	米国	1.1
9	SCIENTIFIC GAMES TL 1L	バンクローン	米国	1.1
10	PRIME SECURITY SE TL B 1L	バンクローン	米国	1.1

※比率はマスターファンドの純資産総額に対する割合です。

※なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書 (全体版) でご覧いただけます。

## 種別構成等



※比率はマスターファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。  
 ※組入比率のデータは経過利子を含んでおり、運用報告書（全体版）のデータとは一致しないことがあります。



968469

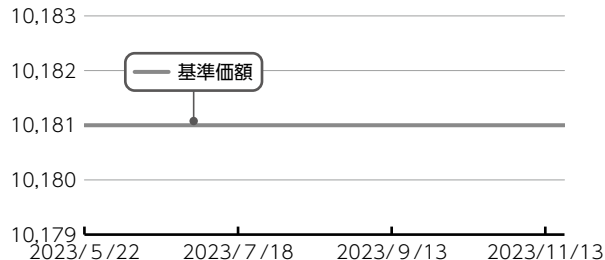
2023年11月20日現在

組入上位ファンドの概要

マネー・マーケット・マザーファンド

基準価額の推移

2023年5月22日～2023年11月20日  
(円)



1万口当たりの費用明細

2023年5月23日～2023年11月20日  
当期において費用が発生していないため、費用明細は作成しておりません。

組入上位10銘柄

(組入銘柄数：4銘柄)

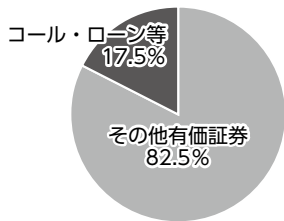
順位	銘柄	種類	国・地域	業種/種別	比率(%)
1	ニッサンジドウシャ 231121	其他有価証券	日本	コマーシャル・ペーパー	58.9
2	ホンダF 231121	其他有価証券	日本	コマーシャル・ペーパー	14.7
3	グンゼ 231121	其他有価証券	日本	コマーシャル・ペーパー	5.9
4	アミカスF 231121	其他有価証券	日本	コマーシャル・ペーパー	2.9
5					
6					
7					
8					
9					
10					

※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。  
※原則、国・地域については、発行地を表示しています。

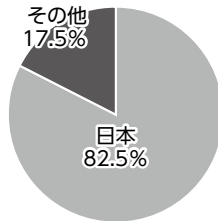
※なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)をご覧ください。

種別構成等

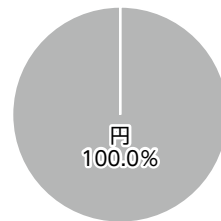
資産別配分



国・地域別配分



通貨別配分



※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。  
構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。  
※原則、国・地域については、発行地を表示しています。

※国・地域別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等(国内外)を相手先とした他のファンドの余裕資金等と合わせて運用しているものを含みます。

# 指数に関して

## ▶ 「ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

### ●東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

東証株価指数 (TOPIX) (配当込み) とは、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、浮動株ベースの時価総額加重方式により算出される株価指数です。TOPIXの指数値及びTOPIXに係る標章又は商標は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社 (以下「JPX」という。) の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利・ノウハウ及びTOPIXに係る標章又は商標に関するすべての権利はJPXが有します。

### ●MSCI コクサイ・インデックス (配当込み)

MSCI コクサイ・インデックス (配当込み) とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCI コクサイ・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

### ●MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み)

MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み) とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCI エマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

### ●NOMURA-BPI (国債)

NOMURA-BPI (国債) とは、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が発表しているわが国の代表的な国債パフォーマンスインデックスで、NOMURA-BPI (総合) のサブインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

### ●FTSE世界国債インデックス (除く日本)

FTSE世界国債インデックス (除く日本) は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

### ●JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド

JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイドとは、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。当指数の著作権はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。



三菱UFJアセットマネジメント